

## 第31回日本 Shock 学会総会 プログラム

2016年10月6日(木)

Room 2 (シンシア/ノース)

8:50~9:00 開会式

9:00~11:00 シンポジウム

『ショック治療における体外循環の役割』

司会：西田 修 (藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座)

布宮 伸 (自治医科大学医学部麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門)

S-1. 敗血症性ショックに対する ECMO では、導入時に右心機能を評価し、離脱までのロードマップを作成すべきである

自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門 方山 真朱 ほか 6名

S-2. 当 ICU における敗血症性ショックに対する VA-ECMO 療法

千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 今枝 太郎 ほか 14名

S-3. 血液浄化療法を用いた液性因子の制御

東京大学救急部・集中治療部 土井 研人

S-4. 免疫制御血液浄化システムの構築

藤田保健衛生大学医学部麻酔・侵襲制御医学講座 原 嘉孝 ほか 7名

S-5. 心原性ショック治療における補助循環：現状と今後の展開

日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科・集中治療室 佐藤 直樹

11:00~12:00 会長賞セッション

座長：芝本 利重 (金沢医科大学医学部生理学第二講座)

宮下 正夫 (日本医科大学千葉北総病院外科)

K-1. 敗血症性心筋障害と好中球エラストラーゼ

岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学分野 北川雄一郎 ほか 10名

K-2. 早産児マウス敗血症モデルにおけるヘムオキシゲナーゼ-1 の保護効果

神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野 藤岡 一路

K-3. 鈍的頭部外傷は高齢マウスのリンパ球アポトーシスと免疫抑制を引き起こす

東海大学医学部外科学系救命救急医学 多田真衣子 ほか 5名

K-4. 自己免疫性疾患関連 HLA に注目した化合物スクリーニング系の構築

東海大学医学部外科学系救命救急医学 鈴木 雄祐 ほか 4名

K-5. ラット敗血症性ショックモデルを用いた微小循環における血流障害の定量評価手法の開発

千葉大学大学院工学研究科 高橋 穂 ほか 4名

K-6. PGE2 誘導膜型 PG 合成酵素 (mPGES-1) は PGE2/EP4 受容体シグナルを介して肝温虚血再灌流障害を制御する

北里大学外科学 西澤 伸恭 ほか 5名

12 : 10~13 : 10 ランチョンセミナー1

「敗血症性 DIC の最近の考え方」

演者：丸藤 哲（北海道大学大学院医学研究科侵襲制御医学講座救急医学分野）

司会：相引 眞幸（愛媛大学大学院医学系研究科救急医学分野）

共催：旭化成ファーマ株式会社

13 : 10~13 : 40 会員総会

13 : 40~14 : 30 特別講演

“Care of the Shock Patient in the Era of Precision Medicine”

Timothy G. Buchman (Emory Critical Care Center, Atlanta, GA, USA)

Chair : Shigeto Oda (Department of Emergency and Critical Care Medicine, Chiba University Graduate School of Medicine, Chiba, Japan)

14 : 30~16 : 30 日本 Cell Death 学会 合同シンポジウム

『Shock 病態における炎症・細胞死とダイニング・コードの関与』

司会：小谷 穰治（兵庫医科大学救急・災害医学講座）

田中 正人（東京薬科大学生命科学部免疫制御学研究室）

JS-1. 侵襲時の免疫不全とその制御対策の重要性

防衛医科大学校免疫微生物 木下 学 ほか 6名

JS-2. 敗血症病態下でのオートファジー動態とその制御による治療の可能性

千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学 渡邊 栄三 ほか 5名

JS-3. 免疫老化とリンパ球アポトーシス—侵襲時におけるその意義と治療への展望—

東海大学医学部附属八王子病院外科学系救命救急医学 井上 茂亮

JS-4. 組織マクロファージによる炎症制御機構

東京薬科大学生命科学部免疫制御学研究室 田中 正人

JS-5. 免疫系による死細胞認識機構とその応答

九州大学生体防御医学研究所感染ネットワーク研究センター免疫制御学分野  
山崎 晶

JS-6. ビタミン B6 の新しい抗炎症作用

金沢大学がん進展制御研究所免疫炎症制御研究分野 須田 貴司

指定発言

Emory Critical Care Center, Atlanta, GA, USA

Timothy G. Buchman

16 : 30~16 : 40 閉会式

### Room 3 (シンシア/サウス)

#### 10:00~10:50 一般演題1

座長：小野 聡 (東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部)  
馬嶋 正隆 (北里大学医学部薬理学)

- O-1. 急性腹症における AN69ST-CHDF の使用経験  
東京医科大学八王子医療センター特定集中治療部 上野 琢哉 ほか 8名
- O-2. マウスアナフィラキシーショック時における腎臓交感神経活動応答  
金沢医科大学生理学Ⅱ講座 張 涛 ほか 2名
- O-3. ヒツジ塩素ガス暴露モデルにおける呼吸機能障害に対する R-107 の治療効果  
東京女子医科大学形成外科 猪原 康司 ほか 4名
- O-4. 正常ラット腸間膜リンパ液の miRNA の安定性  
日本医科大学救急医学分子解剖学 坂本和嘉子 ほか 7名
- O-5. 血小板の炎症誘導作用における Rac の役割  
岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センター 土井 智章 ほか 3名

#### 10:50~11:50 一般演題2

座長：佐々木淳一 (慶應義塾大学医学部救急医学)  
松田 兼一 (山梨大学医学部救急集中治療医学講座)

- O-6. パーキンソン病患者の免疫機能解析  
東海大学医学部外科学系救命救急医学 水嶋 七実 ほか 6名
- O-7. 腎部分切除後の感染により副腎機能が完全に喪失した敗血症性ショックの1例  
札幌医科大学医学部集中治療医学 巽 博臣 ほか 11名
- O-8. 未治療の急性骨髄性白血病に敗血症性ショックを併発した一例  
飯塚病院集中治療部 平松 俊紀
- O-9. 高度侵襲下における血管透過性亢進と neuregulin (NRG)-1 との関連  
愛知医科大学病院救命救急科 森 久剛 ほか 6名
- O-10. 大規模災害医療とショック  
京葉病院外科 原口 義座 ほか 3名
- O-11. 重症患者治療が医療従事者コミュニケーションに与える影響：ウェアラブル行動科学ビッグデータの解析  
三重大学大学院医学系研究科分子病態学 川本 英嗣 ほか 6名

#### 12:10~13:10 ランチョンセミナー2

「緑膿菌性肺炎とガンマグロブリン製剤の新規効用のメカニズム」

演者：佐和 貞治 (京都府立医科大学麻酔科学教室)  
司会：小倉 真治 (岐阜大学大学院医学系研究科救急・災害医学)  
共催：一般社団法人日本血液製剤機構